

花沢アイクリニック通信

第149号

R5年5月



久しぶりの演劇鑑賞

こんにちは。院長の梅津由子です。

春もたけなわ、マスク着用が原則個人の判断となり、新型コロナが感染症2類から5類に移行し、本格的なポストコロナに突入といった今日この頃、いかがお過ごしでしょうか？

今年は、いろいろなイベントが解禁となり、私もぼちぼちコンサートなどを楽しんでいます。先日、仙台でお芝居を観てきました。

私は、大学時代は演劇鑑賞会に在籍し、年に8本程度は芝居をみていましたが、ここ数年、特にコロナ禍になってからは鑑賞の機会がなく、久しぶりのお芝居にドキドキ・ワクワクしながら会場に向かいました。



しかも演目は今を時めく三谷幸喜の名作、「笑いの大学」。
出演はテレビでもおなじみの内野聖陽、瀬戸康史の二人芝居です。

舞台は、すべての台本は事前に検閲が必要だった、昭和15年の日本。劇団「笑の大学」の座付作家・椿（瀬戸）は、新任検閲係・向坂（内野）の検閲を受けることになりますが、喜劇に一切理解がないという向坂は、いろいろな難癖を付けて、上演許可を出そうとしない。しかし椿は向坂の指摘を逆手に取る形で、台本をどんどん変更し、それは思いがけず「完ぺきな喜劇」になっていく…。といったストーリーです。

二人の魂がぶつかり合うような、丁々発止（意味：激しく議論しあうさま）のやり取り、お互いの腹の中を探りつつ、同時に今まで思いもよらなかった自分の内面に気付いていく様子が、笑いとともに胸に迫ってきます。私もユーモアたっぷりの場面に笑い、ラストはグッと胸に迫る感動を覚え、素晴らしい時間を過ごすことができました。

最後はスタンディングオベーションで拍手が鳴りやまず、生の舞台は本当にいいものだと感じ、余韻にひとりながら帰路につきました。

同じ作品が、役所広司・稲垣吾郎主演で映画にもなっていて、そちらも見てみようかと思っています。



〒992-0022 米沢市花沢町2695-1
0238 (40) 0606

土曜日は昼休みなく、8:30~14:00まで受付です。

受付時間	月	火	水	木	金	土
8:30~12:00	☺	☺	☺	☺	☺	☺
2:00~5:30	☺	☺		3:00 6:30	☺	2:00 まで

目玉いきいきライフ

目玉いきいきライフのコーナーでは、
目の健康に関する情報や、
耳より情報（眼科だけどっ）を
お届けします。



老眼鏡と拡大鏡～後編・拡大鏡の特徴～



拡大鏡(メガネ型ルーペ)は、見たいもの・小さくて見えにくいものを大きくしてくれる眼鏡です。スマホを見るとときや、新聞・細かい説明書などを見るときは、文字そのものが大きくなるので見やすくなります。



新聞や小説を読むといったシチュエーションよりも、手芸・プラモデル作りなどの手元で細かい作業を行うときや、精密機械を取り扱う作業などにとても役立ちます。

拡大鏡は、使用する用途によって倍率を選ぶ必要があります。一般的に、読書やパソコン・スマホを見る際の倍率は1.25～2.0倍、手芸・ネイルなどのより細かい作業には2.5倍ほどが適しているとされており、用途に合わせたさまざまな倍率のものがあ

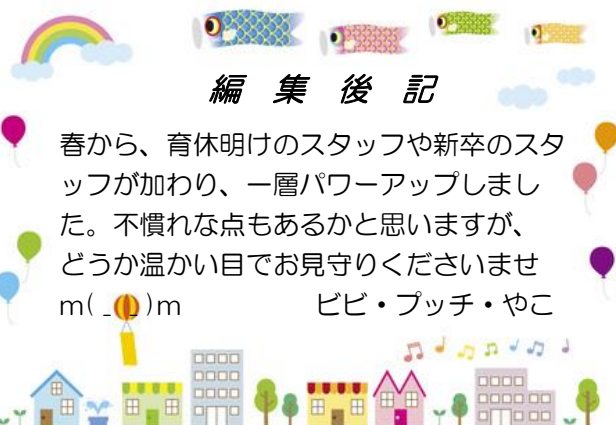
ります。ただし、拡大鏡は老眼を補正してくれるものではありません。使う人の年齢は関係なく、細かい作業をするときに手元を拡大して見やすくするアイテムです。老眼だからかけるというものではなく、細かい作業をするときにかけると見やすくしてくれるというものです。

そのため、老眼の状態では拡大鏡をかけた場合、ピントは合っていません。ピントの合っていない像を大きくして見ているという状態になります。像を大きくして見てもピントは合っていないので、目は疲れます。

拡大することを目的にルーペを購入する場合は問題ありません。しかし、拡大鏡はかなり近いところでの作業に適したものです。「思っていた見え方と違う!」と思った場合は老眼鏡の方がいいかもしれません。

老眼鏡と拡大鏡はそれぞれ役割が異なるため、使用シーンに合わせて上手に組み合わせることでより快適に過ごすことができます。まずは眼科や眼鏡店で目の状態を調べたうえで老眼鏡を試してみて、それでも小さいものが見えにくいようなら拡大鏡を使うことを検討してみてもいいかもしれません。

まつ毛のお薬「グラッシュビスタ」入荷再開しました！
詳しくはスタッフにおたずねください♪



編集後記

春から、育休明けのスタッフや新卒のスタッフが加わり、一層パワーアップしました。不慣れな点もあるかと思いますが、どうか温かい目でお見守りくださいませ
m(_ _)m ビビ・ブッチ・やこ